

はちまんたい

2007.12.6
No.52

●主な内容

- 市長と市民のテーマトーク開催…02
2007年・秋の叙勲と表彰…04
話題ピックアップ…10
福祉ねっとわーく…14
生涯学習…16
お知らせ…18

緊張の一瞬



今月の表紙

八幡平市芸術祭は11月2から4の3日間、各地区で開催されました。各会場で作品展示や舞台発表などが行われ、大勢の人でにぎわいを見せました。（写真は安代会場の浅沢神楽。舞台の上で本番を前に、真剣な面持ちを見せる児童たち）（関連記事は10P）

市長と市民の まちづくりに市民の声を生かす



テーマトーク開催

市長 市は、基本的に行行政で利用する目的のない財産は公売していく方針です。昨年も西根地区の町裏住宅跡地を売却しました。東自治公民館前の土地は現在、建設課が碎石置き場などとして利用しているので、時期を見て売却する考えです。地域の皆さんには、この土地をどう活用すれば良いと考えています。

市民 子どもの遊び場として開放してほしいと要望したことがあります。ここは、平館小学校の学区内でも子どもが多い地域です。交通量も増えて危険なので、子どもたちが安心して遊べる遊び場にしてほしいと要望を出したら、財政難ということで断られました。

市長 西根バイパスが開通すれば、交通量はもつと増えるでしょう。

市民 道路も狭いので、なんとか子どもたちのため遊び場とともに安全の確保について

懇談テーマ「東自治公民館前(旧西根町営住宅跡地)の今後の活用予定について」
対話団体.. 東おやじ会(津志田満郎会長)
日時.. 11月10日(土)、午後6時半
場所.. 東自治公民館 参加者.. 21人

市長 面積が大きい土地なので全部というわけにはいきませんが、市である程度の土地を提供して、平館地域振興協議会で公園を整備することはできません。

市民 地域で協力していくことは可能だと思います。

市長 市は、協働のまちづくりを進めるため地域振興協議会の事業に予算を配分しています。松尾地区では、地域で



市民 おやじ会や地域でも管理には協力していきます。道具などはなくとも、子どもが遊ぶことができる広場として活用し、草刈りや砂場整備など地域でできる範囲のことは、地域でやるという条件を付けて要望します。

市長 持ち帰つて検討したいと思います。

市民 この土地は、地域の中心的場所なので、将来も公園として残してもらいたいといふのが、地域の総意です。

市長 公園は、造った後の管理が大変です。要望するにはしつかり管理するという話をして、実際にはやつていないういう例もあると聞きます。

人手を出して道路の舗装をしている例もあります。どうやつて公園を造り、管理していくかという問題が解決できるのであれば、実現の可能性もあると思います。

市民 すぐに売却しないで、検討してもらいたい。

懇談テーマ「TMR事業の今後について」

対話団体..岩手山麓デイリーサポート(田

村亨会長)

日時..11月13日(火)、午後1時半~

場所..西部営農経済センター 参加者..10人



市の酪農施策について議論を深めます



市長とテーマトークをしませんか?

市は、市民の皆さんからの意見や提言を、よりよいまちづくりに生かすため、まちづくり懇談会（市長と市民のテーマトーク）の開催希望団体を募集しています。

皆さんも、まちづくりについて市長と話し合ってみませんか。たくさんの応募をお待ちしています。

■対象 市内で活動する団体やグループ（組織化されていないグループも可）。最小10人。

■開催期間 20年3月まで。午前10時から午後9時までの範囲内で、1開催につき2時間まで。

■開催日時、場所 申込団体と協議して決定します。

■申し込み方法 希望団体は、市企画総務部総務課、各総合支所地域振興課、柏台出張所、田山支所にある申込用紙に必要事項を記入して、開催希望日の1カ月前までに、用紙配布窓口に提出してください。申込用紙は、市のホームページからもダウンロードできます。

申し込みなど詳しくは、市企画総務部総務課広報統計係（☎76-2111、内線1218）まで。

りない状況です。

※TMR（混合飼料）

Total Mixed

Rationの略で、牛が必

要とするすべての栄養素（粗

飼農家には、優先的に供給し

てもらわなくてはなりません。

まず、市内の注文を取りまと

め、余ったならば、多少高い値

段にするなどして市外に売つ

てもいいと思います。

たれた完全混合飼料。常に栄

養バランスのとれた飼料を食

べることで、牛が持っている

本来の能力を100パーセン

ト発揮できるなどのメリット

があります。



TMRは牛のバランス栄養食です

瑞宝单光章
消防



しまうち ますお
島内 益男さん

(78歳・石名坂)

島内さんは、昭和54年から約8年間、安代町消防団長を務め、消防防災に貢献しました。在任中は岩手県消防協会の監事も務め、消防防災の指導者として組織強化や消火設備の充実、防火意識の向上に尽力。退任後は安代町防犯協議会長などを歴任しました。

社会福祉の向上に寄与したことが高く評価され、高橋松男さん(松尾寄木)が厚生労働大臣表彰を受けました。高橋さんは、旧松尾村で昭和54年から28年間にわたり民生児童委員を務め、地域の社会福祉向上に貢献しました。また、県央地区市町村民生児童委員協議会の会長など、社会福祉に関する要職を歴任しました。



2007年

秋の叙勲

国や地方の発展などに功績のある人を顕彰する「2007年秋の叙勲」は文化の日の11月3日に発表され、本市から佐々木正四郎さんが旭日双光章、島内益男さんが瑞宝单光章を受章しました。おめでとうございます。

旭日双光章
地方自治



ささきしょうしろう
佐々木正四郎さん

(78歳・野駄)

佐々木さんは、平成7年から連続3期、松尾村長を務め、村勢発展に貢献しました。在任中は、岩手山火山活動への防災対策、産業振興などに尽力。西根町・松尾村・安代町合併協議会の副会長の重責を果たし、八幡平市発足時には市長職務執行者を務めました。

監査事務に功労があつたことが認められ、高橋育夫さん(松尾)が総務大臣から監査事務功労者表彰を受賞しました。

高橋さんは、旧松尾村で昭和60年から4期16年間にわたり監査委員を務め、村勢の発展に貢献しました。11月8日に市役所で伝達式が行われ、田村正彦市長から高橋さんに表彰状が手渡されました。

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

地域福祉への貢献に報いる表彰



監査事務功労者表彰

高橋育夫さん総務大臣表彰受賞

ご存知ですか？住基カード

住基カードってなに？

「住民基本台帳カード」といいます。住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービ

スの一つとして、市町村が発行している安全性に優れたICカードです。

左上の見本のよう、顔写真付きで生年月日、性別、氏名、住所が記載されている住基

カードと、氏名

のみが記載されている写真なしの住基カードの2種類があり、希望するカードを選択できます。

特に顔写真付き住基カードは、運転免許証やパスポート・履歴書サイズのものスポーツカードなどと同じく、公的な身分証明書として利用することができます。

金融機関での10万円を超える現金振込み、携帯電話・クレジットカードなどの新規契約、銀行口座の開設など、普段の生活の中で本人確

認を求められる場合が多くあります。運転免許証など、公的な身分証明書を持っていない人は、この住基カードがあると便利です。

申請はどうするの？

住基カードの申請は、市生活福祉部市民課各総合支所地域振興課の窓口で受け付けます。

■申請に必要なもの

- 顔写真1枚(申請前6カ月以内に撮影したものでパスポート・履歴書サイズのもの)
- 印鑑
- 手数料500円

■住基カードの受け取り

申請を受けてからカードを交付するまで、約1週間かかります。住基カードは市生活福祉部市民課の窓口で、原則として本人に交付します。

ほかにメリットは？

住基カードには、安全性の高いICチップが埋め込まれています。この機能を利用し、

インターネットを通じて行政手続きを行う電子申請を利用することができます。電子申請は、国や県、市に対しての届け出や手続きのうち、手数料の発生しないものを中心として、県では行政文書申込など162種類、市は給付請求や職員採用試験の申し込みなどを実施しています。この

手続きを行った場合は、住基カードに電子証明書を追加する手続

きができます。電子証明書は、住基カードの申請窓口で追加する手続きができます。住基カードについて詳しくは、市生活福祉部市民課住民係(☎76-2111、内線1134、1135)まで。

所得税の電子申告で最高5千円の控除

■事前手続きはお早めに

電子申告には、電子証明書付きの住基カード、インターネットに接続できるパソコン、ICカードリーダーライターが必要です。

■インターネットでかんたん申告

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」から、直接電子申告ができます。

■最高5千円の税額控除

電子申告を行うと、最高で5千円の所得税控除を受けることができます。(19年分または20年分のいずれか1回のみ)

■添付書類が提出不要

所得税の確定申告を電子申告で行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票は、記載内容を入力して送信することになります。ただし、確定申告から3年間、添付書類の提示または提出を求められることがありますので、原本書類の保存が必要です。

電子申告について詳しくは、盛岡税務署(☎019-622-6141)または国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)まで。



西根中学校吹奏楽部による演奏が披露されました
西根中学校吹奏楽部の11人が地域に
代々伝わる勇壮な舞を披露。西
部が東北大会で銀賞に輝いた
メンバーでの最

八幡平市市民憲章推進大会は11月3日、西根中学校体育館で開催されました。市民憲章は昨年の11月3日

高橋香菜美さん(西根中3年)の朗読に続いて、約250人の参加者全員で市民憲章を唱和。「農と輝の大地」を実現する理想のまちづくりへ向け、決意を新たにしました。

まちづくりに尽力した功労者14人、善行3人を市特産の安比塗の賞状で表彰。地域社会に貢献した3人と1団体に感謝状が贈られました。

続いて、まちづくり講演会では、安比高原サッカー場協同組合「アスパ」の立花徳彦理事長が「スポーツが生んだ地域産業」と題して講演。アトラクションでは、兄川先祓い保存会(関春造会長)

八幡平市市民憲章推進大会は11月3日、西根中学校体育館で開催されました。

確かな 理想のまちづくりへ 第一歩を踏み出す

市民憲章推進大会を開催

市民憲章を広め、豊かなまちをつくろうと第1回市民憲章推進大会を開催しました。

高橋香菜美さん(西根中3年)の朗読に続いて、約250人の参加者全員で市民憲章を唱和。「農と輝の大地」を実現する理想のまちづくりへ向け、決意を新たにしました。

まちづくりに尽力した功労者14人、善行3人を市特産の安比塗の賞状で表彰。地域社会に貢献した3人と1団体に感謝状が贈られました。

続いて、まちづくり講演会では、安比高原サッカー場協同組合「アスパ」の立花徳彦理事長が「スポーツが生んだ地域産業」と題して講演。アトラクションでは、兄川先祓い保存会(関春造会長)

▽ 功労表彰▽ 議員 米田定男(野駄)▽ 民生連絡員 高橋スエ子(平笠)、伊藤義信(堀切)、千葉二千六(田頭)、田村征男(平館)、渡辺清(田頭)▽ 消防団員 八角善悦(堀切)、高橋勘一(平笠)、工藤紀久(大更)、小野寺右(上閎)、上林正(大更)、北口輝男(土沢)、畠山長久(曲田)、藤村辰之(黒沢)▽ 善行表彰▽ 高橋富男(大更)▽ 工藤勲(大更)▽ 佐藤優子(柏台)▽ 感謝状▽ 村上未治(寺志田)▽ 小野寺久夫、小野寺幸子(荒木田)▽ 市建設協同組合

第36回マーチングバンド・バトン・ワーリング東北大会は10月28日、宮城県で開催され、市から出場した松尾中学校吹奏楽部が銀賞を受賞しました。マーチングは演奏と動きで音楽的効果と視覚的効果の調和を競うもので、統一感のある動きと正確な演奏力が審査されます。同吹奏楽部は、14年連続での東北大会出場です。



喜びに沸く松尾中学校吹奏楽部の皆さん

マーチングバンド・バトン・ワーリング東北大会 松尾中が14年連続出場で銀賞に

第57回全国小・中学校作文コンクール
黒沢博英さんが県最優秀賞受賞

全国小・中学校作文コンクールで、安代中学校(外岡立)の助校長、生徒117人が3年の黒沢博英さんが、岩手県最優秀賞に輝きました。

黒沢さんは、巣から落ちたスズメのひなと過ごした夏の思い出を執筆。小さなひな様子や、家族との温かいふれあいを通じて命の大切さを学んだことを「拾つた命」と題して丁寧に描きました。



最優秀賞に輝いた黒沢博英さん

冬季の除雪にご協力を

除雪は市民生活のため

市は、冬期間の住民の日常生活や事業活動の支障にならないよう、市の管理する道路などの除雪を行っています。除雪は朝の通勤・通学路を確保する面もあり、降雪量によっては早朝から出動することが多くなりがちです。除雪車のエンジン音や振動が皆さんの睡眠を妨げる場合もありますが、市民生活を確保する

とが多くなりがちです。除雪

車が通った後の玄関先などには、雪の山が残ります。車が出せないなどの声が寄せられていますが、大型の除雪車で行っているため細部の作業は困難です。玄関先など宅地内の除雪は、各家庭で行ってくださいます。よろしくご協力をお願いします。

民間の除雪サービス

八幡平市建設協同組合では、

個人や事業所から有料で私道や宅地などの除雪を請け負うサービスを開始しました。料金などは左の表のとおりです。なお、これは標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度などによって変更になる場合がありますので、ご注意ください。

詳しくは、市建設協同組合(☎70-2211)、または市産業建設部建設課(☎76-1111、内線1335)まで。

【民間除雪サービス表】 住宅周辺、生活私道の除排雪料金

機種	除雪車の規格	作業単価 (10分)	移動単価 (10分)
ホイルドーザ車(排土板) ※()は排土板の大きさ			
小型	3t(0.4立方m)	1,960	1,560
	4t(0.5~0.6立方m)	2,010	1,600
	5t(0.8~0.9立方m)	2,100	1,680
中型	7t(1.2立方m)	2,450	1,960
	8t(1.3~1.4立方m)	2,520	2,010
	9t(1.5~1.7立方m)	2,850	2,200
大型	13t(2.7立方m)	3,950	3,100
	16t(3.0~3.2立方m)	4,500	3,600
ロータリー車(乗用タイプ)			
小型	30馬力以下	2,270	1,810
	30~40馬力	2,650	2,100
中型	72~85馬力	2,950	2,300
	120~130馬力	4,800	3,800
大型	175~180馬力	6,000	4,800
ロータリー車(手押しタイプ)			
小型	10~11馬力	1,170	930
	12馬力	1,320	1,060
	15~16馬力	1,380	1,110

※申し込みは市建設協同組合(☎70-2211)まで。なお、表はいずれも標準料金であり、地域や積雪の状況、難易度により変更になる場合があります。

除雪作業が困難な人の相談を受け付けます

■住宅周辺などの雪かき(屋根など危険な場所は除く)

地区名	連絡先	内容
松尾地区	市社会福祉協議会本所(☎74-4400)	○松尾地区スノーバスターズ(無料) 民生委員の調査で除雪対象世帯を事前に選定し、原則週末に実施
安代地区	市社会福祉協議会安代支所(☎72-2811)	○安代地区スノーバスターズ(無料) 除雪対象世帯を事前に選定し、12月から3月までの日曜日に実施
市内全域	市シルバー人材センター(☎72-2811)	○住宅周辺の除雪 1時間: 1,080円

■屋根の雪おろし、住宅排除雪

地区名	連絡先	内容
市内全域	市建設協同組合(☎70-2211)	○屋根の雪おろし(作業員1人) 1時間 2,000円~ ○住宅排除雪 2t車(1時間) 3,125円~ 4t車(1時間) 3,500円~ 10t車(1時間) 4,375円~

市は、除雪作業が身体的に困難な人(一人暮らし老人、高齢者夫婦世帯、障害者世帯など)のため、市社会福祉協議会、市シルバー人材センター、市建設協同組合と協力して、雪かきなどの相談窓口を左の表のとおり設けました。雪かきを依頼したい場合は、それぞれの窓口へ相談してください。

■その他の相談窓口

- 西根地区 市生活福祉部地域福祉課(☎76-2111、内線1165)
- 松尾地区 松尾総合支所地域振興課(☎74-2111、内線2106)
- 安代地区 安代総合支所地域振興課(☎72-2111、内線3115)

効率経営で緑白綬有功章に輝く

日本で最も古い全国規模の農業団体・社団法人大日本農会の農事功績表彰は11月20日に東京で行われ、工藤嘉夫さん(田頭)が緑白綬有功章を受章しました。

工藤さんは、記帳による計画的な経営管理や草地の共同利用などをすることで農業経営を合理化し、土地利用型の低コスト酪農経営を確立したことが高く評価されました。



緑白綬有功章を授章した工藤嘉夫さん

援護事業功労者に対する厚生労働大臣表彰

長年の功労に厚労大臣から表彰

戦傷病者や戦没者遺族に対する援護事業に多年にわたりつて功勞があつたことが認められ、田村秀夫さん(平館)が厚生労働大臣表彰を受賞しました。

田村さんは昭和45年から約38年間、岩手県遺族連合会の副会長や戦没者遺族相談員などを歴任。八幡平市遺族会の設立に携わるなど、組織活動においても活躍しました。



厚生労働大臣表彰を受けた田村秀夫さん

秋田わか杉国体で伊藤拓也選手入賞

秋田わか杉国体は9月29日から10月9日まで、秋田県内の各会場で開催されました。

市在住・出身の選手が多数参加し、日ごろ練習で鍛えた力を存分に発揮しました。

レスリング成年男子の部では、グレコローマンスタイル84キロ級に伊藤拓也さん(早稲田大学4年・平笠出身)が出場し、見事に3位入賞を果たしました。おめでとうございました。

県中学校新人大会 陸上競技など活躍

県中学校新人体育大会は10月20、21の両日に陸上などが、11月17、18の両日にバレーボールなどの競技が各会場で開催され、熱戦を展開。市内の中学校からも多数の種目に出場し、入賞するなど活躍を見せました。

それぞれの競技で出場した選手の主な成績は次のとおりです。(敬称略)

- 陸上△個人▽男子3000m①高橋知成(松尾中2年)、③安保玲(西根中1年)

一部地域の民生児童委員が変更になりました

12月1日から、右の表に掲げた地域で、民生児童委員が変更になりました。その他の地域は、これまでと変わりありません。

民生児童委員は、さまざまな相談や援助の手助けをし、地域の福祉を増進することを目的に厚生労働大臣が委嘱します。

詳しくは、市生活福祉部地域福祉課福祉総務係(☎76-2111、内線1165)まで。

地区	担当区域	氏名	地区	担当区域	氏名
西根	上町	谷川 イサ	松尾	主任民生児童委員	
	下町一区	藤原 光子		大更地区	田村 恵子
	下町三区	工藤 義則		平館・寺田地区	千葉 キミ子
	松川一区	関 昇一		湯沢	工藤 アヤ子
	岡村・山子沢	田村 市郎		向村、山道	立柳 征満
	北村二区	石川 由美子		中沢、前森	斎藤 由美
	中村	遠藤 勝子		中郡、立石	石羽根 恵子
	間羽松	平野 法		新田	高橋 マツエ
	館腰	伊藤 稲子		上寄木、刈屋	鈴木 綾子
	薬師	田村 智代子		金沢	立花 国彦
安代	上平笠	伊藤 吟子		八幡平温泉郷	阿戸 時枝
	中平笠	福士 勝利		主任民生児童委員	
	下平笠	高橋 慶子		寄木、柏台地区	高橋 誠子
	東	工藤 幸子		清水3、曲田住宅、保土沢	山本 恵子
	松久保	早坂 サツ		苗代沢、姥子石、田中	川又 喜美子
土沢	堀切	松浦 香代子		杉沢、上川原、沢口	斎藤 正雄
	佐々木 祐			戸鎖、佐比内、館市	八幡 政男

(敬称略)

盛岡北部行政事務組合 平成18年度介護保険特別会計決算

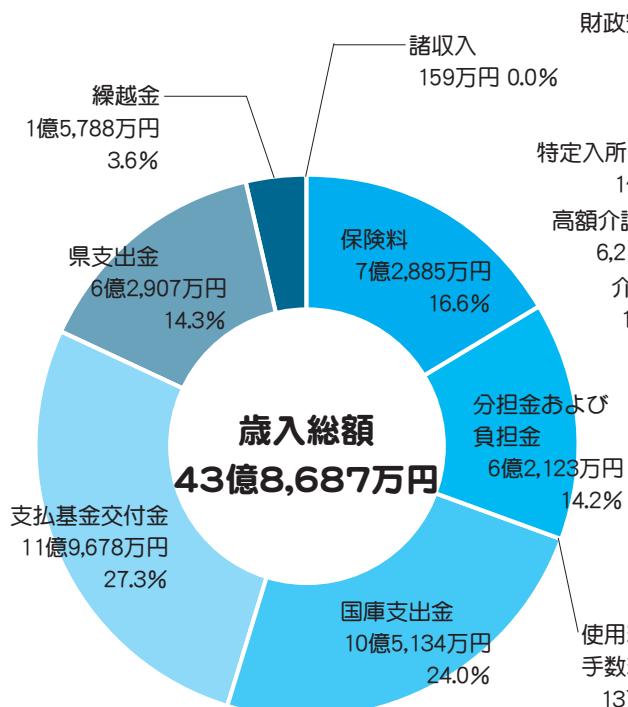
歳出42億3,329万円を認定

介護が必要なお年寄りなどを社会全体で支える介護保険制度は、盛岡北部行政事務組合が3市町(八幡平市、葛巻町、岩手町)共同で運営しています。17年度までは盛岡市玉山区も加わっていましたが、合併により18年度から玉山区は盛岡市として介護保険事業を行っています。

同組合の議会が10月19日に開催され、18年度の介護保険特別会計の決算が認定されました。

18年度の歳入は43億8,687万円でした。歳入のトップは支払基金交付金の11億9,678万円で、全体の27.3%を占めています。65歳以上の人人が納めた保険料は7億2,885万円(16.6%)となりました。歳入の内訳は、グラフ1をご覧ください。

●グラフ1 歳入の内訳

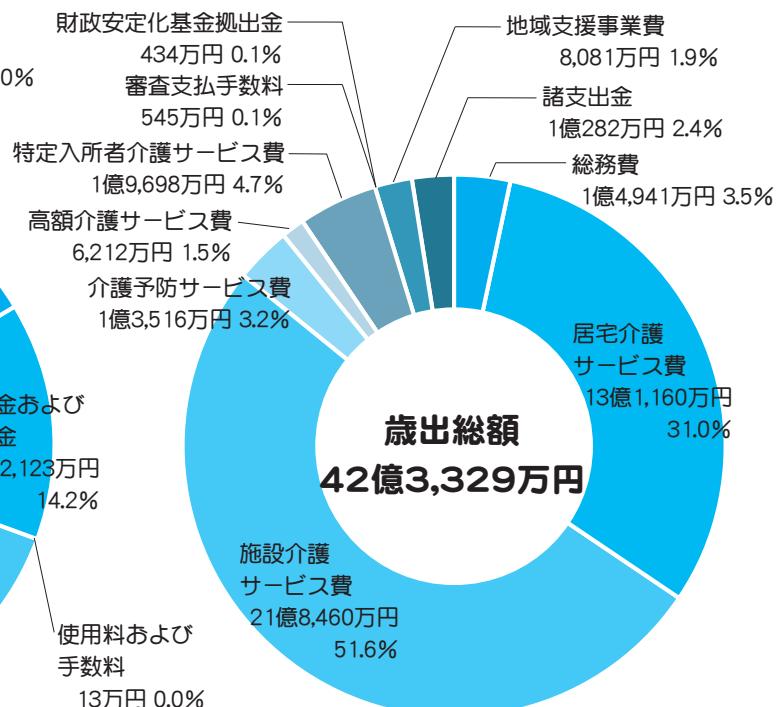


歳出の総額は42億3,329万円でした。このうち、居宅介護サービス費(31.0%)、施設介護サービス費(51.6%)、介護予防サービス費(3.2%)、高額介護サービス費(1.5%)、特定入所者介護サービス費(4.7%)、審査支払手数料(0.1%)を合わせた「保険給付費」が全体の92.1%を占め、38億9,591万円となりました。歳出の内訳は、グラフ2をご覧ください。

また、盛岡北部行政事務組合管内の要介護・支援認定者数など、介護保険事業の概要については表1のとおりです。

介護の相談などは、市生活福祉部長寿社会課(☎76-2111、内線1187)または盛岡北部行政事務組合(☎74-2716)まで。

●グラフ2 歳出の内訳



●表1 平成18年度介護保険事業の概要(19年3月末現在)

(単位：人)

市町名	高齢者数	要介護・支援認定者数								サービス利用者数				サービス費用 (給付費)
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	居宅介護	地域密着	施設介護	合計	
八幡平市	9154	175	200	231	305	199	192	212	1514	813	22	412	1247	21億7101万円
葛巻町	2876	77	94	75	108	59	65	57	535	297	2	114	413	6億4374万円
岩手町	4850	65	98	123	167	109	111	120	793	426	30	194	650	10億8115万円
組合合計	16880	317	392	429	580	367	368	389	2842	1536	54	720	2310	38億9590万円

※高齢者は65歳以上を表します

まちのニュース

芸術の秋に華やぐ祭典で心も豊かになろう



さんさ踊りや郷土芸能など、多彩な舞台発表が行われました(西根会場)

期間中は、3地区の会場で絵画や書道、写真、生け花などのほか、地域の児童による工作などを展示。丹精込めて仕上げられた作品に、訪れた人は熱心に見入っていました。会場内には気軽に茶道を体験できる茶室を設置。本格的なお点前を披露し、簡単な作法などを教わりました。

芸術祭の花形、ステージ発表では、地域の郷土芸能をはじめ、歌や踊りなどが披露され、来場者を楽しませました。また、交流事業として作品展示、ステージ発表それほどもあり、会場を盛り上げました。

市民に芸術と文化に親しんでもらおうと、市芸術祭は11月2から4の3日間、各地区で開かれました。2日には、西根地区体育館で開幕式を開催。西根むらさきコーラスの美しい歌声が披露され、オープカットで芸術祭の開幕を祝いました。

西根、安代地区では2日から3日間、松尾地区は3日からの2日間の日程で開催。



工夫をこらした作品に見入ります(松尾会場)



↑ミニゲームでは、日本代表クラスの華麗なテクニックを間近で体験しました

→ボールの止め方、蹴り方など、基礎練習をしっかりやります

Fリーガーから基礎テクニックを学ぶ教室

市民フットサル教室は11月19日、アリーナまつおで小中学生やフットサル愛好者など約40人が参加して開かれました。フットサルは、室内で行われるサッカーに似た競技で、ボールもコートも小さいことから、年齢や性別を問わず生涯スポーツとして人気を集めています。

教室の後半は、実戦形式のミニゲームです。参加者は、フットサル日本代表チームに選ばれるほどの選手と同じコートに立ち、パスをつなぎでゴールを目指しました。

日本フットサルリーグの最高峰、Fリーグに北海道、東北地域から唯一参戦するステラミーゴいわて花巻の選手6人が講師となり、バスやシュートなど基本プレーを中心に指導しました。

教室の後半は、実戦形式のミニゲームです。参加者は、フットサル日本代表チームに選ばれるほどの選手と同じコートに立ち、パスをつなぎでゴールを目指しました。

福祉の心を学び理解を深めるまつりを開催

福祉について広く理解を深めもらうと八幡平市福祉まつりは10月28日、西根地区市民センターで開かれました。会場では、福祉団体の活動展示や福祉作業所の作品販売などを実施。お年寄りが普段感じている困難さを感じてもらおうと、重りの入ったベストやサポーターを身に着けて、ハンドエイキャップ体験を行いました。午後からは演芸会が行われ、歌や踊りで訪れた人を楽しませました。



バザーなど会場は大勢の人でにぎわいました

全国初の本格的フィールドクロス競技大会

障害物をクリアしながらゴールを目指します

第一回フィールドクロスレースは10月14日、田山クロスカントリーコースを会場に、県内から120人が参加して行われました。

この大会は、コースに設置された障害物を乗り越えながら速さを競う競技で、本格的な障害物レースとしては、全国でも初めての開催です。

参加者は「とてもハードですが楽しい競技です。来年も参加したい」と意欲を高めています。



記念品を受け取る渡辺二三さん、妙さん夫妻

夫婦で手を携えてきた節日の60年をお祝い

市社会福祉協議会は11月8日、八幡平市ダイヤモンド婚を祝う会を岩手山焼走り国際交流村で開催しました。

市内に在住する昭和22年12月31日以前に結婚した夫婦57組を招待。互いに助け合いながら結婚生活60周年を迎えたことをお祝いしました。

祝う会では、記念写真的撮影や記念品を贈呈。杉の子保育園の園児たちがお遊戯などを披露し、ダイヤモンド婚を祝いました。

いざという時に備えて火災防御訓練を実施



大規模火災に備え、放水訓練などを行いました

秋の全国火災予防運動期間中の11月11日、松尾総合運動公園で市火災防御訓練を行いました。

県内陸北部で震度6弱の地震が発生し、アリーナまつおから出火したとの想定で訓練開始です。西根、松尾、安代の各地区消防団から、消防車両9台と団員約70人が出動しました。消防署隊と連携して、河川などからポンプ車で中継して放水する消火訓練を行いました。

講演などを通して男女のあり方を考えよう

19年度八幡平市男女共同参画フォーラムは11月25日、松尾ふれあい文化伝承館で開催されました。

もりおか女性センターの平賀圭子センター長が「みんなで創る農と輝の大地」と題して多様性を認め合い、男女とともに楽しく生活する社会にしようと講演。続いて、田村正彦市長などが「認め合い、心豊かな地域を目指して」をテーマにパネルディスカッションを行い、議論を深めました。



呼び掛け活動に出発する渋川少年消防クラブの皆さん

渋川小学校（佐藤寛行校長、児童12人）の児童で組織する渋川少年消防クラブは11月9日、地区内で火災予防の呼び掛けを行いました。この活動は11月9日から15日までの秋の全国火災予防運動に合わせて実施したものです。児童は、そろいの半てんを身に付けて、消防車両に乗り込み地区内を巡回。「寝る前に火の元を確認しますよう」と火災予防を呼び掛けました。

渋川少年消防クラブが火災予防を呼び掛け



男女の役割とより良い関係について議論しました

市の第三セクター、安代産業振興公社は11月22日、特産品のヤマブドウを広くPRしようと、八幡平市山ぶどうワインパーティーを開きました。

パーティーには、ワイン愛好者のほか、ヤマブドウの生産者などが参加。テーブルは、市の特産品のホウレンソウやホロホロ鳥などをふんだんに使った料理が並べられ、来場者は料理とワインを心ゆくまで楽しみました。



リース作りに挑戦する参加者

あけびつるのリース作り講座は11月14日、松尾地区公民館で開催されました。

松尾地区であけび工芸の工房寿限無（じかんむ）を営む田中優子さん（松尾寄木）を講師に招き、地域の女性17人が挑戦。あけびつるで円状に編んだリースの土台に、トチの実や松ぼっくりなどを飾り付けました。参加者のほとんどは初めての経験でしたが、美しい出来栄えに満足そうな笑みを浮かべていました。

あけび工芸の美しいリースを作りましょう

特産品のワインと料理を楽しむパーティー



特産品のワインと料理に舌鼓を打ちます

助け合いの心を込めてチャリティ芸能大会

安代地区歳末たすけあいチャリティ芸能大会は11月18日、安代地区体育館と田山中学校体育館の2会場でそれぞれ開かれました。

地域の保育所や幼稚園に通う園児たちが、この日のため練習してきたかわいらしい

お遊戯を発表。小学校の児童たちは、華やかなよさこいソーランを踊り、会場を盛り上げました。

このほか、婦人会や地域の有志による歌や踊りが披露され、会場を訪れた人たちを楽しませました。



▲安代小学校の4年生は「よさこいソーラン」を勇壮に披露し、会場を熱気で包みました



△婦人会の皆さんによる歌と踊り「フンナイト・カーニバル」



「たいよう」中川咲(大更小1年)、「ぼくの顔」金沢大都(田山小3年)、「クレヨンで絵を描こう」沢口靖子(大更

県内の小中学生から767編の作品が寄せられ、最優秀賞に当たる江間章子賞など12人に賞状と記念品を贈呈しました。詩題と受賞者は、次のとおりです。(敬称略)

▽江間章子賞

「まほう」田村芽衣(大更小6年)、「自然を見つめて」千葉裕子(一関市立一関中学校3年)

▽八幡平市長賞

「おにぎり」遠藤未来(寺田小4年)、「風の宅急便」沢口弥生(大更小6年)、「夢のヒカリ」夢のカケラ(饗庭祐奈(岩手大学教育学部付属中学校2年)

▽八幡平市教育長賞

「じょうくん」大志田愛理(大更小1年)、「命」藤本達瑠(田山小4年)、「おじいちゃん」小野翔平(大更小6年)、「尊敬する手」伊藤百佳(西根中1年)

少年少女の豊かな感性で言葉のスケッチを

第10回少年少女の詩「江間章子賞」授与式は、11月20日に西根第一中学校で行われました。



武田常德副市長から江間章子賞を贈りました



運動で太りにくく体をつくりましょう

保健のひろば

内臓脂肪症候群に注意

メタボリックシンдро́м（内臓脂肪症候群）は、お腹の周りに脂肪が付く内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、高脂質などの危険な要素を2つ以上持った状態です。それぞれの値は健康診断で「異常」になる水準ではなくても、「やや高め」が重なることがあります。動脈硬化が進み、心臓病や脳卒中など、命にかかる重篤

な病気になる危険性があります。動脈硬化は自覚症状がないまま進行することが多いため、「ベルトの穴がひとつ外側になつた」「血圧が少し高めだつた」などのちょっとした変化こそ重要なサインです。メタボリックシンдро́мを防ぐため、次のことに気をつけましょう。

○食事は1日3食、時間を決める。規則正しい生活は健康の基本です。

○ゆっくり食べる。早食いは食べ過ぎにつながります。

○食事はゆっくり食べることが大切です。

○食事の品数を増やす。特定の食品や好きなものばかり食べていると、栄養が偏ります。

○基礎代謝の低下防止。筋肉を増やして、太りにくく体をつくりましょう。

子育ての応援をしています

森の子育て支援センター

森の子保育園では、市で実施している親子教室や1歳6ヶ月児健診、3歳児健診の待ち時間を利用しており、子育てのお話をしたり、一緒に遊んだりして、子育ての応援をしています。

松尾地区で健康相談開催

子育て相談、身長、体重、血圧、体脂肪の測定などの健康相談会を実施します。

■日時 毎週月曜日、午前10時～正午
■場所 松尾地区保健センター

こころの健康相談

自分や家族の心の悩みやひきこもり、認知症、飲酒の問題などの相談を受け付けます。

相談を希望する人は、12月13日までに、ご連絡ください。

■日時 12月17日(月) 午後1時～

■場所 西根地区市民センター

詳しくは、市生活福祉部保健課(☎ 76-12111、内線144)まで。

認知症を予防しましょう

認知症は、大人になつてから起る認知障害のことです。老化現象と思われがちですが、

脳の障害によって起こる「病気」です。最も多いのはアルツハイマー病によるもので、全体の6割を占めるといわれています。

認知症の6割を占めるといわれています。認知症は、早期に発見して



皆さんの子育てをお手伝いします

認知症の症状

認知症の中心的な症状は「記憶障害」です。これは、老化による物忘れと異なり、体験したことの全て、例えば朝食の内容ではなく、食べたこと 자체を忘れてしまうのが特徴です。新しいことを覚えられない、すぐ前のことでも忘れ、時間や場所が分からなくなる、目の前にあるものが何なのかわからないなどの症状

が見られます。認知症は、早期に発見して正しく治療すれば、症状が改善することによって、認知症はある程度の予防や発症を遅らせる可能性があります。

日常生活で認知症を予防する

○人付き合いを大切に。家族や友人ととの会話を絶やさないようにしましょう。

○ウォーキングなど有酸素運動をしましょう。有酸素運動は脳の血流を良くします。

○魚を食べましょう。青魚には脳の血流をよくしたり、動脈硬化を防ぐ成分が含まれています。

○野菜や果物を食べましょう。ビタミンC、E、ベータカロチンなどの抗酸化物は、認知症予防に効果があるといわれています。

○記憶力を積極的に使いましょう。お金の管理や身の回りのことは自分でやる、食事の記録をつけてみるなど。

認知症の専門医療機関は、「もの忘れ外来」（精神科、神経内科、脳神経外科）です。

詳しくは、市包括支援センター(☎ 76-12111、内線1185)まで。

介護のココロ

●広報／はちまんたい ●2007／12／14

月刊

がっこうニュース

12月号



開幕を告げる6年生の館山陣太鼓

児童の精いっぱいの演技が大きな感動を巻き起こす！

第31回田頭ふるさとまつり開催

田頭ふるさとまつりは11月10日、「精いっぱいの演技で客席に感動を」をスローガンに田頭小学校講堂で開かれました。

このまつりは、田頭小学校100周年記念行事の成果を後に伝えようと始められたものです。

開会行事で瀬川興司校長は、「昼は学校、夜は地域での練習を重ねて頑張ってきた成果を発揮してください」とあいさつし、児童を激励しました。

開幕は6年生による勇壮な館山陣太鼓です。迫力の鼓動が講堂いっぱいに響き、第一部のオープニングを飾りました。1年生は、イソップ童話を元にした劇「ねこにすずをつけやつた」をかわいらしく演じました。

続く5年生は、誕生日を売り渡してしまった少女が自分を取り戻そうとする劇「もう一度ハッピーバースデー」を披露。3、4年生は合唱「ベストフレンド」、「帰りの会のサンバ」を元気いっぱいに歌いました。



間羽松の児童による「田頭田植え踊り」

午後は第2部として、地域単位での郷土芸能などの発表です。田植え踊りや竹の子舞といった市無形民俗文化財のほか、田頭地域に伝わる盆踊りなどを披露しました。

会場を訪れた人は盛大な拍手を送り、児童たちの熱演に応えていました。



2年生の「王さまはチョコレートが大好き」

広報クイズ No.27 12月6日号の問題

ダイヤモンド婚式でお祝いをした夫婦は何組ですか？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。

◎応募方法 はがき、ファックス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限 12月27日(木) 消印有効

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファックス 75-0469

☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp(タイトルに「広報クイズ」と入力)

◎第26回の正解 「360本」 ◎応募者数 12人 ◎正解者数 12人

◎当選者 小田秀美さん(松尾寄木)、藤田とも子さん(松尾)、小田島サツ子さん(清水)

MUSEUM

博物館 ☎63-1122 FAX63-1123

博物館だより

企画展示 「弁当その器の用と美」展から



円形(わっぽ)弁当入れ
安比塗漆器工房との共催事業として実施した「弁当その器の用と美」は、好評のうちに終了しました。弁当入れは庶民にとって、最も親しまれてきた日常の必需品です。

仕事に疲れた空腹を満たし、食後のお茶とともに昼のひとときを癒してくれ、誰もが親しんだ「たかが弁当、されど弁当」です。

今回の展示では、青森・秋田・岩手3県の弁当入れをその形や大きさ、用途の違いを比較することで、その土地の特色や地域間に交流があったことが分かりました。

安比塗漆器工房との共催事業として実施した「弁当その器の用と美」は、好評のうちに終了しました。弁当入れは庶民にとって、最も親しまれてきた日常の必需品です。

ました。

歴史的に「弁当」という言葉が登場したのは、鎌倉時代のことです。それ以前は「破子(わりご)」と呼ばれていました。弁当は、もともと好都合・便利なことを意味する俗語で、「弁(そな)えて用に当てる」ことから、弁当の字が当てられるようになりました。

紙面の関係上、ここでは形のみに注目して、さまざまな弁当入れを紹介します。



△楕円形(そらまめ形)弁当入れ



△角形(重箱形)弁当入れ



△筒形(陶器も含む)弁当入れ

LIBRARY

図書館 ☎75-1700 FAX75-1701

図書館だより

イ 公民館図書室にコンピューター導入 ンターネットに蔵書情報公開

20年1月10日(木)から、松尾、安代の各公民館図書室の図書情報が電子化され、インターネットを通じて市立図書館を含めた3施設の蔵書検索・貸し出し予約ができるようになります。両公民館図書室も、同日から再開しますので、皆さんぜひご利用ください。

冬休みの楽しい行事がもりだくさん

市立図書館の1月の行事に、どうぞ参加してください。詳しくは当館まで問い合わせください。

【冬休み工作教室】

児童・親子を対象にペーパークラフトを行います。

■日時 20年1月10日(木)午後1時~

【冬休み親子映画会】

すてきなお話をたくさん上映します。

■日時 20年1月16日(水)午後1時半~

朗読を身近に楽しんでみませんか

八幡平市朗読奉仕「ほおづきの会」による朗読会が市立図書館で開催されます。楽しい朗読、読み聞かせのほか、少年少女の詩「江間章子賞」受賞の子どもたちが受賞作品を朗読します。言葉の世界が広がる朗読会を、親子で楽しんでみませんか。

■日時 20年1月26日(土) 午後1時半~

■■■ 行事・休館日のお知らせ ■■■

- ▶おはなしのじかん(絵本の読み聞かせなど) 12月22日(土)、20年1月12日(土)午後3時~
- ▶あみぐるみ教室 12月15日(土)午前10時~
- ▶新刊子どもの本を読む会④ 20年1月5日(土)午前10時~
- ▶短歌を楽しむ会⑩ 20年1月5日、午後1時~
- ▶1月のテーマ展 「干支&若い人たちに薦める図書」
- ▶休館日 12月11日(火)、18日(火)、25日(火)、28日(金)~20年1月4日(金)、8日(火)、15日(火)

各地区公民館の

行事案内板

詳しくは、各公民館へ問い合わせください。

□大更公民館

☎76-4069

- ▶12月15日(火) 姿勢をよくするウォーキング講座(午前9時半～11時半)
- ▶12月19日(土) 子ども映画会(午後3時～3時45分、大更保育所)
- ▶12月20日(日) 子ども映画会(午後2時15分～3時、東大更児童館)
- ▶12月25日(木) わんぱくクラブ⑦・ふれあい講座⑦・しめ飾りづくり(午前10時～午後1時)※ふれあい講座は午後3時まで
- ▶1月8日(火) いきいき文化クラブ⑩雪上運動会と報告会(午前10時～午後2時)
- ▶1月11日(金) わんぱくクラブ⑧つる細工(午前10時～午後3時)
- ▶1月15日(火) 自遊人の生きがい講座 ふるさと発見コース③(午後1時半～3時半、狛わしの尾)
- ▶1月17日(木) 姿勢をよくするウォーキング講座(午前9時半～11時半)※1月から毎週第3木曜日に変更
- ▶1月18日(金) ふれあい講座⑧ぬりえ(午前10時～午後3時)

□田頭公民館

☎76-2521

- ▶12月22日(火)、23日(水)、24日(木) 公民館フックス清掃日(休館日)
- ▶1月6日(日) 定例書道教室(午前9時～午後3時)
- ▶1月9日(水) 料理講座(ジャム・マーマレード作り)(午前9時～午後2時) 【右上に継ぐ】

教育委員会生涯学習課

☎74-2111

中小学生自らが運営する行事案を計画

市教育振興運動推進協議会(工藤嘉八会長)では、行事活動を計画し行うことで、実践班のリーダーとしての資質の向上を図る市子どもリーダー研修会を11月17日、市総合福祉センターで開催しました。

市内12実践区から小中学生72人が参加。参加者は12班に分かれてスポーツ大会やハイキング、資源回収などアイデアを出しながら小中学生が一緒に実践できる行事展開計画案作りに挑戦しました。



行事展開計画について班で話し合う参加者

- ▶1月11日(金) 曙大学(新年交賀会)(午前10時～午後2時)
- ▶1月16日(水) 成人講座(バランスボールで楽しもう)(午前10時～正午)
- ▶1月20日(日) 定例書道教室(午前9時～午後3時)

□平館公民館

☎74-2040

- ▶1月8日(火) なんでも道場⑨「スキ教室」(午前9時～午後4時、下倉スキー場)
- ▶1月11日(金) 世代間交流「ミズキ団子づくり」(午前9時半～午後2時半)

□寺田公民館

☎77-2024

- ▶12月11日(火) 詩吟講座(午後1時半～3時半)
- ▶12月13日(木)、27日(木)、1月10日(木) オカリナ教室(午前10時～正午)
- ▶12月13日(木) 茶道教室 寺子屋⑦(午後3時半～4時45分)
- ▶12月18日(火) 幼児映画会(午前10時～10時半、寺田保育所)
- ▶12月18日(火) 七時雨大学⑦ 布ぞうり作りとシートベルト体験(午前9時～午後3時)
- ▶12月19日(水)、1月11日(金) 和紙絵教室①・②(午前10時～午後3時)
- ▶1月9日(火) 七時雨大学⑧ グラウンドゴルフ大会と映画会(午前9時～午後3時、寺田小学校体育館ほか)
- ▶1月12日(木) 鏡開き柔道大会(午前9時～正午、寺田柔剣道場)
- ▶1月16日(火) 幼児映画会(午前10時～10時半、寺田保育所)
- ▶1月19日(木) ホームヨガ教室①(午後1時半～3時)

□五日市公民館

☎72-2961

- ▶12月13日(木)、14日(金) リフォーム教室(午前9時15分～午後3時45分)

スキーシーズン到来・大会日程のお知らせ

●市スキー大会実行委員会主管のスキー大会

- ▶1月7日(月)～9日(水) ガリウムカップ田山クロスカントリー大会(田山クロスカントリーコース)
- ▶1月11日(金)～14日(月) 県中学校スキー大会、県高等学校スキー大会、県スキー選手権大会【ノルディック種目】
(安比高原スキー場、田山クロスカントリーコース、田山シャンツエ)
- ▶1月18日(金)～21日(月) 県民体育大会スキー競技会(安比高原スキー場、田山クロスカントリーコース、田山シャンツエ)
- ▶1月25日(金)～27日(日) 東日本バイアスロン競技大会(田山バイアスロン競技場)
- ▶3月8日(土)～9日(日) 松尾八幡平アルペンスキー大会(八幡平リゾート下倉スキー場)

●市スキー大会実行委員会後援の主なスキー大会

- ▶1月6日(日) 田山少年ジャンプ大会(田山シャンツエ)
- ▶2月3日(日) 松尾地区スキー大会(八幡平リゾートパノラマスキー場、県民の森)
- ▶2月9日(土) 三ヶ田札一杯安代地区ジュニアスキー選手権大会(田山スキー場、田山クロスカントリーコース)
- ▶2月11日(月) 県・市スポーツ少年団スキー大会(田山スキー場、田山クロスカントリーコース)



市民憲章推進大会・アトラクション「兄川先祓い」(11月3日、西根中学校体育館)



ダイヤモンド婚を祝う会・杉の子保育園のお遊戯発表(11月8日、焼走り国際交流村)

国の教育ローン制度が 入学・在学資金を応援

国民生活金融公庫では、高校、短期大学、大学、専修学校、各種学校、予備校などへの入学・在学資金を融資する「国の教育ローン」を次とおり取り扱っています。

- 融資額 1人200万円以内
- 利率 年2.5%(固定金利)
- 返済期間 10年以内
- 返済方法 毎月元利均等返済
- 使い道 入学金、授業料、教科書代、アパートの家賃など

詳しくは、国民生活金融公庫盛岡支店(☎019-623-4376)まで。

若者が抱える就職の悩み おやじやあねきに相談を

盛岡地域若者サポートステーション運営協議会では、15歳から35歳ぐらいまでの無職の人を対象に、無料相談を次のとおり開催しています。

◎相談日

- おやじによる相談日(父親世代の相談員) 12月20日(木)
- あねきによる相談日(30代前半の相談員が友達感覚で相談)

12月10日(月)、11日(火)、17日(月)、18日(火)

■臨床心理士による相談日(専門家がメンタル面でサポート、登録者のみ相談できます)

12月12日(水)、21日(金)、26日(水)

詳しくは、盛岡地域若者サポートステーション運営協議会(☎019-625-8460)まで。

よろこび おくやみ

(10月届け出分)

健やかに

荒町	そま	馬	(男)/高広/大更)
佐々木	さまた	木	(女)/崇/平館)
小原	こはら	小原	(男)/淳/大更)
高橋	たかはし	高橋	(女)/照芳/大更)
立花	たてばな	立花	(女)/裕也/星沢)
畠山	はたけやま	畠山	(男)/勝浩/松尾寄木)
高橋	たかはし	高橋	(女)/勇二/松尾寄木)
佐藤	さとう	佐藤	(男)/智彦/岩木向)
伊藤	いとう	伊藤	(男)/雄二/大更)
新井	あらい	新井	(女)/英正/大更)
高橋	たかはし	高橋	(男)/勝裕/大更)
仙澤	せんざわ	仙澤	(女)/和明/松尾)

お幸せに

(小俣	さち	治	松尾寄木
(澤口	さわぐち	真美	西根寺田
(伊藤	いとう	俊	田頭
(藤田	とうだ	幸陽子	盛岡市
(田村	たむら	輝	大更
(岩崎	いわさき	里美	岩手町
(高橋	たかはし	公彦	大更
(小原	こはら	美香	盛岡市
(西本	にしもと	広一郎	安比高原
(竹園	たけぞの	智江	沖縄県
(堀	ほり	慎也	岩手町
(工藤	くわど	陽子	大更

安らかに

津志田善太郎	99歳	大更
工藤 史工	86歳	田頭
八幡 清治	68歳	田沢
工藤 春栄	50歳	田頭
田村 権一	77歳	荒木田
三浦 ヲリ	84歳	平又
吉田 善志	91歳	松尾寄木
小原 静次	90歳	大更
高橋 愛子	63歳	柏台
工藤 サト	80歳	大更
松浦 孝	78歳	大更
遠藤 俊介	42歳	田頭
佐々木エイ	82歳	荒木田
斉藤 愛子	86歳	松尾寄木
佐々木政吉	84歳	松尾
三浦 善次郎	80歳	大更
佐々木芳光	82歳	松尾
畠山 チヨ	77歳	杉沢
杉本 國雄	74歳	兄川
渡邊 リエ	90歳	大更
工藤 午吉	84歳	田頭
田村 きみ	92歳	大更
阿部 武	78歳	沖ノ平
小野寺金一郎	83歳	上閑
武藏 行雄	69歳	平館

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。(敬称略)

お知らせ Information

詳しくは各部、各機関にお問い合わせを

- 八幡平市役所 76-2111
- 松尾総合支所 74-2111
- 安代総合支所 72-2111

ホームページアドレス
<http://www.city.hachimantai.lg.jp>



市芸術祭・安代会場ステージ発表「浅沢神樂」
(11月3日、安代小学校体育館)



市芸術祭・松尾会場茶道体験
(11月4日、松尾地区公民館)

短期雇用の臨時職員 若干名を募集します

市は、臨時職員を次のとおり募集します。

- 職種 事務補助員(若干名)
- 対象 市内在住で、普通自動車免許を持っている人
- 雇用期間 20年2月上旬～3月末の間で2カ月程度
- 勤務地 松尾総合支所、安代総合支所(本庁税務課配属)
- 応募方法 市企画総務部総務課または各総合支所地域振興課に備え付けてある履歴書に必要事項を記入の上、市企画総務部総務課に提出してください。
- 応募期限 12月21日(金)(郵送の場合、当日消印有効)

応募者が多数の場合は、採用されないこともあります。採用が決定した人には別途通知します。

詳しくは、市企画総務部総務課行政係(☎・内線1214)まで。

12月のあそぼう会 平館保育所で開催

西根地区的保育所(園)は、未入所(園)児を対象にあそぼう会を次のとおり開催します。

- 日時 12月18日(火)、午前9時半から11時まで
- 場所 平館保育所
- 内容 園児と一緒に絵本を見たり、ままごと遊びをしましょう。
- 持ち物 上履き

詳しくは、平館保育所(☎74-2025)まで。

心の病気を理解する 講演会を開催します

市は、市民を対象に「うつ病」についての講演会を次のとおり開催します。

- 日時 12月12日(水)、午後1時半～3時(誰でも参加できます)
- 場所 西根地区市民センター
- 講師 さくらクリニック院長阿部佐倉さん(奥州市水沢区)

詳しくは、市生活福祉部地域福祉課(☎・内線1166)まで。

都市計画道路の見直しへ 皆さんの意見を伺います

市は、西根都市計画道路の見直し作業を進めるに当たり、皆さんの意見を伺うため説明会を開催します。

- 日時 12月20日(木)、午後6時半～
- 場所 大更公民館 農業研修室
都市計画道路について詳しくは、市産業建設部建設課都市計画係(☎・内線1331)まで。

NTTの電話帳を 配達・回収します

NTT東日本岩手支店では、12月中に、新しい電話帳を各家庭や事業所に配布します。現在使っている電話帳は、地球環境保護のため、配達員が回収します。不在の場合でも、後日回収に伺いますので、連絡してください。

詳しくは、タウンページセンター(☎0120-506-309)まで。

20年版岩手県民手帳など 市役所・総合支所で販売

平成20年版の岩手県民手帳などの販売あっせんを行っています。

- 販売あっせん物件 ①岩手県民手帳：600円、②岩手県能率手帳：700円、③農業日誌：1400円、④ファミリー日誌：1400円、⑤新農家暦：480円
- 販売期間 12月25日(火)まで(土日祝日を除く)
- 販売窓口 本庁総務課、松尾・安代総合支所地域振興課、田山支所で現金と引き換えに販売します。代金は、必ずつり銭のないようにお持ちください。

詳しくは、市企画総務部総務課広報統計係(☎・内線1217)まで。

12月の森の子保育園 あそぼう会開催日程

森の子保育園では、未入園児を対象にあそぼう会を次のとおり開催します。

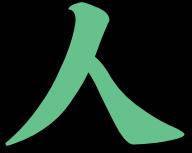
- あそぼう会
①12月12日(水)、午前9時半から11時半まで
②12月26日(水)、午後3時半から5時まで。

持ち物は帽子、着替え。給食希望者は前日までに予約し、当日ははし(スプーン)、コップ、タオルを持参。26日は上着を忘れずに。

- 園庭開放日 12月19日(水)、午前9時半から11時半まで

詳しくは、森の子保育園(☎70-1880)まで。

Zoom Up



地域の皆さんや家族など、
大勢の人々に支えられた結果で
自分がもらつた幸運だとは思えません



18

工藤 嘉夫 さん

●くどう・よしお 昭和32年に県立六原経営伝習農場を卒業後、水田2ha、畑2ha、乳牛2頭、馬1頭で農業を始める。妻のミツエさんと二人三脚で農業を経営するかたわら、岩手県農業農村指導士や岩手県農政審議会委員などを歴任し、県内外で講演活動を通じた家族経営協定の普及などに尽力。座右の銘は「晴耕雨読」、好きな言葉は「努力」という67歳。血液型O型のうお座。両親と妻、息子夫婦、孫2人の8人家族。田頭在住。

から現在に至るまで、約50年にもわたって農業計画や作業日誌を書き記してきた人生が凝縮された宝物。そこには、工藤さんが農業者としてこれまで歩んできた人生が詰まっている。

記録を付けることで計画的に農業を行いやすくなり、経営が円滑になる。このノート。そこには、工藤さんが農業者としてこれまで歩んできた人生が詰まっている。

記録を付けることで計画的に農業を行なう。それは珍しいもの。牛を増やすなど経営規模を拡大していくこととともに、草地を地域の酪農家で共同利用するなど負担を軽減して、自立した農業経営の確立に力を注いできた。こうした工藤さんの優れた経営感覚と地域でのリーダーシップが高く評価され、社団法人日本農会の19年度緑白綬有功章受賞につながった。

工藤さんは「地域の皆さんや家族の協力、大勢の人々に支えられた結果で、自分がもらつた幸運だとは思えません」と謙虚に語る。

農業で最も大切なことは何かという問いに対し「あきらめず、努力し続けること」と工藤さんは答える。農業は、どんな作物でも必ず特徴があり、それを生かすために工夫し、努力することを重視する。

農業経験が50年になろうといふ工藤さんだが、未だに自分は1年生だと考えているのだという。「農業は毎年条件が変わるものの、去年までの正解が今年も正解になるとは限らない」と語り、気を引き締める。より良い農産物を生産するという大きな目標へ向けて了

る努力と探究に終わりはない。常日ごろからの努力を惜しまない工藤さんだが、後進の育成にも気を配る。「先輩や専門家の話を聞くことが何よりも大切です。それぞれが経験し、勉強してきたことに耳を傾けることは必ず役立ちます」と言つて聞かせるという。

表彰を機に、地域や農業のためにさらなる貢献をしようと思ふことは、遠からず大きな実を結ぶことだろう。